

■ インドネシア「ビジネス環境改善のためのドラフター的能力向上及び紛争解決機能強化プロジェクト」の活動としてオンラインセミナーを開催しました

インドネシアでは、法令間の不整合を解消するための体制作りや「ドラフター」と呼ばれる法案起草・法案審査担当者の能力向上が課題となっており、令和3年10月から、法令間の整合性確保に関するドラフター的能力向上等を目標としたJICAの新プロジェクトが開始され、国際協力部は同活動に協力しています。

同活動の一環として、令和4年1月27日（木）、現地のドラフター等を対象に、日本の法令の整合性確保のための方策及びインドネシアのドラフター的能力向上の2つをテーマとしたオンラインセミナーを実施しました。

セミナーにはインドネシア側から400人を超える参加者があり、中央省庁のみならず、地方機関のドラフター等も数多く参加しました。

今回のセミナーでは、内藤晋太郎国際協力部長から、「日本における法律案の作成の概要～法律の矛盾抵触の回避を中心として～」と題する講義を行い、法令間の矛盾抵触に関する法令解釈の原理及び法制上の措置等について、具体的な事例とともに説明をしました。

内藤部長の講義が終了すると同時に、複数の参加者が挙手をして質問を求めるなど、参加者は非常に意欲的にセミナーに参加していました。

質疑応答では、法律制定後に法律の内容に誤りが発見された場合の是正の方法、日本における立法作成過程に国民の意見を反映する施策などに関する質問のほか、条例や通達が上位規範と矛盾する場合の対応についても質問があり、インドネシア側参加者の問題意識の所在をうかがい知ることができました。

また、本セミナーでは、インドネシアのドラフター的能力向上に関する施策の責任者から、「ドラフター専門職のコンピテンシー開発」と題してインドネシアにおけるドラフター制度の概要、業務内容、ドラフター的能力向上のための取組について発表していただきました。

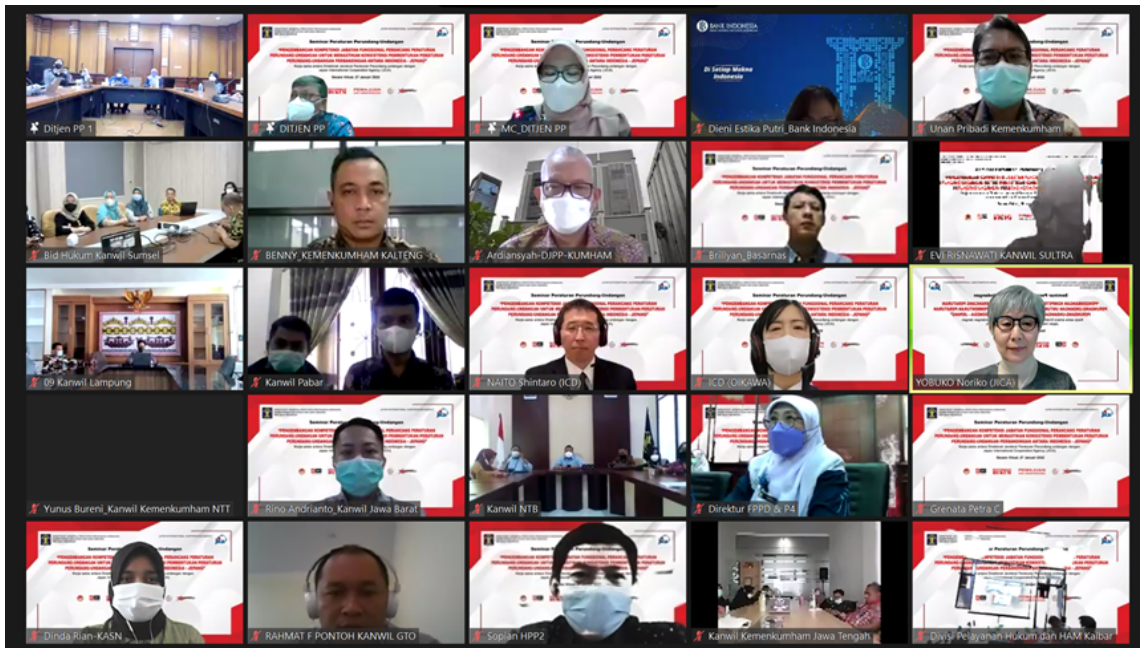
インドネシアのドラフターは、法令の起草・審査を行う専門職の公務員であるところ、インドネシアでは、この度、ドラフターに対して昇進等の基準となるテストを導入したとのこと発表の中で紹介され、インドネシアではドラフター的能力向上のための施策を具体的に考案して実施していることを知ることができました。

本セミナーのアンケート（セミナー開催直後の速報情報）では、「セミナーで習得した知識が自身又は所属組織の業務に役立つものであるか」という質問に対して、「すぐ役立つ」との回答が約3割、「応用すれば役立つ」との回答が約6割であったほか、セミナー全般については、「有意義であった」との回答が9割を超えるなど好評を得ました。

国際協力部は、新型コロナウイルス感染症の影響の状況に留意しながら、今後は、インドネシアのプロジェクト対象機関の関係者らを日本に招いて行う本邦研修も企画・実施するなどして、同プロジェクトに引き続き協力してまいります。



【内藤部長の講義の様子】



【セミナーの集合写真】